

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活環境論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時間	後期	教室名	901教室
担 当 教 員	波野 優貴				
実務経験とその関連資格	<p>【実務経験】 理学療法士として、一般病院(急性期・回復期・慢性期・外来リハ)、老人保健施設、訪問看護ステーション勤務。福祉用具貸与事業者へ勤務。現職にて、介護事業を展開する会社で、教育研修などに従事。PT資格取得より、主に高齢者を対象としたリハビリテーションや生活支援全般のフィールドで勤務してきた。高齢者福祉の中心となっているケアマネジメントの考え方の中で理学療法士が果たす役割について模索し、学会発表など行っている。その他、今後の介護人材不足に備え、社内で発足したテクノロジーを介護に生かすための研究所に兼務し、各種テクノロジーの開発や適応条件の設定などを行っている。 また大阪府東淀川区自立支援型ケアマネジメント検討会議助言者として活動中。</p> <p>【関連資格】 認定理学療法士(地域)、福祉用具プランナー管理指導者、シーティングコンサルタント、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー、福祉住環境コーディネーター2級、おむつフitter3級</p>				
《授業科目における学習内容》					
日常生活動作と環境の関係を理解し、各人に応じて生活動作の評価ができる。グループワークでは他者との意見交換に積極的に参加し、日常生活を実施している環境と動作の関係を知り、またそれを他者に伝えるプレゼンテーションについても学ぶ。そして、基本的ADLや手段的ADL、福祉用具を知り、想起できるようにする。					
《成績評価の方法と基準》					
前期終了後の定期試験が 50%、グループワークの発表と提出物が 20%、小テストが 30%(各講義の最後に小テストを実施します)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「日常生活活動学テキスト」 監修 細田多穂 編集 河元岩男、坂口勇人、村田伸 (南江堂)					
《授業外における学習方法》					
普段生活している全てが、生活環境論と直結します。授業で学んだ内容を、私生活でも考えていくと身につくと思います。自身がどのように日々の生活を過ごしているのかに目を向けて、どのような環境で暮らしているかを改めて振り返ってみてください。またご家族その他身近な人たちが住む環境を観察し、生活習慣とマッチしているのか、課題はあるか、なぜそうなっているのか、広い視野で観察する癖をつけてください。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場を含む理学療法士としての仕事すべてに直結する内容です。周りとコミュニケーションをとりながら、色んな視点で人が生活する上で、環境がどのような役割を果たしているか、日常生活とはどのようなものか、人は何のために生活をするのかを学んでください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	ADLとは何かICFを用いながら説明できる。		教科書	
	各コマにおける授業予定	「オリエンテーション」 ①ADLの概念 ②ADLの想起 ③医学モデルと障害モデル			
第2回	授業を通じての到達目標	QOLとADLの関係性が説明できる		教科書	ICFについておさらいしておく
	各コマにおける授業予定	「ADLと障害・QOL」 ①ICF ②QOLとは ③QOLの評価			
第3回	授業を通じての到達目標	担当となったADLに関連する福祉用具に関して調べることができる		教科書、PC	福祉用具のカタログなどを眺めておく
	各コマにおける授業予定	「環境と動作の実際」 グループワーク(資料まとめ)			
第4回	授業を通じての到達目標	3回目の内容を発表に向けてまとめる		教科書、PC	発表に必要な内容を深めておく
	各コマにおける授業予定	「環境と動作の実際」 グループワーク(グループ内検討、発表準備)			
第5回	授業を通じての到達目標	4回目の内容を発表に向けてまとめる		教科書、PC	発表に必要な内容を深めておく
	各コマにおける授業予定	「環境と動作の実際」 グループワーク(グループ内検討、発表準備)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	他者の発表を聞き、種類や特徴(またプレゼンテーションの仕方)を知る	教科書、PC	わかりやすく発表できるよう、しっかり理解しておく
	各コマにおける授業予定	「環境と動作の実際」 グループワーク発表		
第7回	授業を通じての到達目標	各ADLに関連する福祉用具について理解できる	教科書、自身のグループが発表した資料	各グループの発表内容を確認しておく
	各コマにおける授業予定	「各ADLに関連する福祉用具とその選定方法」 ①各ADLに関連する福祉用具の種類 ②各福祉用具の目的		
第8回	授業を通じての到達目標	移動補助具を安全に使用でき、介助できる	教科書	移動補助具の種類と特徴をおさらいしておく
	各コマにおける授業予定	「ADL 移動 ①歩行」 ①歩行補助具について②杖と歩行器の種類 ③使用方法 ④介助		
第9回	授業を通じての到達目標	移動補助具を安全に使用でき、介助できる	教科書	移動補助具の種類と特徴をおさらいしておく
	各コマにおける授業予定	「ADL 移動 ①歩行」 ①歩行器について ②使用方法 ③選定方法		
第10回	授業を通じての到達目標	車椅子の選定のために必要な知識を理解できる	教科書、メジャー	身体計測部位を確認しておく
	各コマにおける授業予定	「ADL 移動 ②車椅子」 ①車椅子の名称/分類 ②車椅子の操作方法 ③選び方 ④身体計測(実技)		
第11回	授業を通じての到達目標	ADL評価バッテリーの特徴を知る	教科書	ADL、IADLについておさらいしておく
	各コマにおける授業予定	「ADL 評価①」 各種評価方法 BI(介護報酬におけるBI)		
第12回	授業を通じての到達目標	FIMの採点基準を説明でき、自身で再現できる	教科書	FIMの採点基準を把握しておく
	各コマにおける授業予定	「ADL 評価②」 FIMの総論、各論、活用(診療報酬におけるFIM)		
第13回	授業を通じての到達目標	症例を通してFIMの採点ができる	教科書	FIMの採点基準を暗記しておく
	各コマにおける授業予定	「ADL 評価③」 FIM (事例検討)		
第14回	授業を通じての到達目標	生活環境と介護サービスの関連を説明できる	教科書	介護サービスの種類、介護保険制度をおさらいしておく
	各コマにおける授業予定	「生活環境とADL評価」 ①評価の目的 ②生活環境とは ③サービスの利用		
第15回	授業を通じての到達目標	事例を通して住宅改修案が提案できる	教科書	自身の自宅の間取りを確認しておく
	各コマにおける授業予定	「生活環境とADL評価」 ①住宅改修 ②事例検討 、 まとめ		